

★必ずお読みください！

熊本県介護支援専門員更新研修（実務経験者・2回目以降）【32時間】

「自己事例」作成と提出について（全員必須）

更新研修(32時間)の講義・演習「ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表」では、各自が事例を持ち寄り、7つのテーマの事例研究を行います。

「自己事例」の提出が必須となりますが、事例検討ではなく、自らの実践の振り返りをグループで共有し、介護支援専門員としての課題を見出し検討していくことを目的としています。

事項の要領に従って「自己事例」の資料を作成してください。

1. 作成していただく資料

- ① 事例紹介シート（指定様式） ※熊本県介護支援専門員協会ホームページよりダウンロード。

<http://www.kcma.gr.jp/>

※状況により事例のアセスメントやケアプラン一式を画面共有していただきます。表示できる状態で保存しておいて下さい。

- 事例紹介シートは第2日目から5日目の4日間の演習当日までに準備して下さい。事例テーマ全ての作成をお願いします。

- 1つの事例に複数の事例テーマが含まれることもあるかと思いますが、○は2つまでとします。
つまり、最少で4事例、最多7事例が必要となります。

（事例テーマ）

①リハビリテーション及び福祉用具活用に関する事例	②看取り等における看護サービス活用に関する事例
③認知症に関する事例	④入退院時における医療との連携に関する事例
⑤家族への支援の視点が必要な事例	⑥社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例
⑦状況に応じた多様なサービス（地域密着型・施設サービス）の活用に関する事例	

2. 事例の選定方法

自身が担当している、もしくは過去に担当していた事例から選出ください。

解決したい課題を抱えている事例、介護支援専門員として勉強になった（成長できた）事例、利用者への理解を深めたいと感じた事例、他のケアマネージャーと共有したい事例などを基本とします。

3. 事例の提出方法

提出書類は、演習当日、「画面共有」にてグループ内でご紹介いただきます。ワード形式のまま入力、又は手書きで記入されたものをPDFファイルで保存する等して、演習当日に表示できる状態にしてください

事例様式の事務局への提出は不要ですが、当日、画面共有できない場合は参加と認められません。テーマ間違い等でも研修を受講することができません。くれぐれもご注意ください。

4. 事例資料の取り扱いについての注意事項

事例作成は個人情報の取り扱いになります。利用者の尊厳を保持し、「大切な情報・プライバシーを使用させていただく」という倫理的な配慮を念頭に置き、事例を作成してください。

画面共有でグループ内に紹介し、集中事例となった場合はグループ内チャットでグループメンバーに送ることになります。

●氏名、生年月日、住所等、個人が識別できる情報は、仮名はアルファベット表示・マスキング等により個人が特定できないようにする。年齢や性別、家族構成等、事例研究に必要な情報は、個人が特定されない範囲で表記する。

●サービス事業所や医療機関も、個人情報と同様の取り扱いとする。

【事例に関する問い合わせ先】

熊本県介護支援専門員協会 介護支援専門員更新研修事例問合せ専用番号

☎ 080-2753-0303（担当：西田）／☎ 090-4357-0003（担当：白石）

※問い合わせ担当者は通常業務をしながらの対応になりますので、電話がすぐにつながらないことがあります。その場合は時間をおいて再度おかけ直しをお願いします。